

JTB旅ホ連 7支部連合会

2025年度の事業方針

JTB協定旅館ホテル連盟(JTB旅ホ連)は、2025年度の事業推進の基本テーマを「JTBとの戦略的パートナーシップの深化による宿泊増売と会員施設安定経営への貢献」としている。7支部連合会では25年度にどのような事業を展開するのか。各支部連合会長に①支部連合会の25年度事業②JTBとの連携に関する考え③会長としての意気込み、などについてコメントをいただいた。



登別温泉内にある親子鬼像を再建した除幕式の写真＝右から3人目が唐神会長。『いい湯だなあー♪はははん』と、温泉街では何体もの鬼たちが来客者を歓迎している

北海道

支部連合会

会長 唐神昌子

(旅亭花ゆり)

2025年は、旅ホ連 会員の信頼と期待の実現を目標に事業計画案を大幅に刷新した。インバウンド誘客と地域分散を実現するため、ツーウェイチャーターを計画している。行政などにも働きかけ、地域空港への国際定期路線の就航実現のきょうかけつくりを行いたいと考えている。

そのために道内の旅

インバウンド誘客と地域分散へ

北海道支部とJTB北海道事業部との密接な絆をつくる必要性を感じている。全道5支部とその事務局機能を有するJTBオフィスをつなぎ、全道一休のスポーツレクリエーションなども計画している。

サステナブルな取り組みとして、一つは昨年立ち上げたピンクリボンプロジェクトを継続し、乳がんなどの手術をされたお客さまにも大浴場での入浴をお楽しみいただけるという願いで専用入浴着の受け入れ可能施設などを掲載した『よりよい宿』チラシの頒布、啓蒙活動を行う。

もう一つは北海道でも進む温暖化に対応するためのニューフォーマルウェア『あずましウェア』の普及活動を継続する。

北海道支部連合会らしく一致団結し、会員メリットともに絆を深める一年にしたいと考えている。

関東

支部連合会

会長 川野健治郎

(全館源泉掛け流しの宿 西山温泉慶雲館)

このたび、関東支部連合会の会長という大役を拝命した。責任の重さに身の引き締まる思いだ。JTBと旅ホ連が、この絆をより一層深め、とくに自然災害のリスクと隣り合わせだ。だから、誠実に、真剣に、そして現場感覚を大切にしながら、全力で取り組む覚悟である。

観光産業を取り巻く環境は大きな転換期を迎えている。インバウンドの回復が進む一方で、原材

う強力なパートナー

し、共に未来を切り拓いていくことが、これまで以上に重要となる。宿泊増売に向けた取り組みのめりならず、人財育成や地域プロモーション、サステナブルな観光といった領域でも、相互の強みを生かした協働の



山尾会長 館の前で撮影

東北

支部連合会

会長 山尾直嗣

(ホテルニュー水戸屋)

JTBとの戦略的パートナーシップの深化を図り、DMC支店や仕入先との連携を強化し、地域の魅力的な素材を取り組むの情報を提供する。

2024年度の東北地方のインバウンド入込数は、コロナ禍を経て過去最多を更新するとされている。2025年度は開催中の大阪・関西万博や世界陸上などの需要を取り込む機会もあり、JTBが持つさまざまな販売チャネルを最大限に活用し、東北支部連合会が掲げる目標達成に向けて、さらなる誘客に努めていく。

一方で、人手不足や物価の高騰など、宿泊業界のみならず、ツーリズム業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。JTBグループが提案するソリューションを最大限に活用し、さまざまな課題解決に臨んでい

宿泊業界の可能性を最大限引き出す

また、JTBサステナブル取組方針を十分に理解し、東北支部連合会としても積極的に協力し、環境負荷の低減、地域社会との共生、文化遺産の保護など、持続可能な観光の実現に向けた取り組みを推進する。

2026年度上期には「日本の旬 東北」の開催も決定した。東北地方は豊かな自然や旬の食材、歴史、そして温かい人々のホスピタリティがある。これらの強みを最大限に生かしながら、デジタル化や持続可能な観光といった新しい潮流にも柔軟に対応し、世界に誇れる観光地づくりを進めていく。

変化の激しい時代ではあるが、これを機会と捉え、新たな価値創造に挑戦していく。会員の皆さまと共に、東北の宿泊業界の可能性を最大限に引き出し、地域の発展に貢献する所存である。

旅ホ連の実効性、有用性高める

あり方を模索し、実行に移していきたい。関東支部連合会では、旅ホ連本部にならって、2025年度の活動方針として「戦略的パートナーシップの深化を掲げ、JTBとの連携を軸に、地域と業界の双方にとって有意義な取り組みを展開していく。現場の若手同士による未来に向けた交流の強化を含めて、時代の要請に即したテーマに対し、委員会を中心とした活動の活発化を通じて、旅ホ連の実効性と有用性を高めていくよう努めたい。

現場で旅館を経営する立場として、会員の皆さまの悩みに共感し、声に耳を傾けながら、共に課題を乗り越えていく組織づくりを目指す所存である。小さな歩みではあるが、諸先輩方の取り組みを道標として確かな一歩を踏み出し、関東支部連合会の発展と地域観光のさらなる活性化に貢献していきたい。

令和6年12月、特別室が完成!!

〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷1279-13
Tel 0799-23-1212
URL <https://www.the-sunplaza.co.jp>
E-mail info@the-sunplaza.co.jp

淡路インターナショナルホテル

洲本温泉 うるおいの湯

ザ・サンプラザ

ヒューリックホテルマネジメント株式会社

THE GATE HOTEL VIEW HOTELS Tokyo Bay Maihama Hotel

「ありがとう」の想いを贈る

185年

いつの日も、特別な日でした。

大自然に囲まれて癒しのひとときを「匠のこころ 吉川屋」は今年、おかげさまで創業百八十五周年を迎えました。

ご予約は当館WEBサイトまたはお電話で

024-542-2226

<https://yosikawayaya.com/>

WEBサイトからのご予約ならクーポン付

この春、サウナが誕生いたしました。

和洋中バイキングを楽しめるレストラン「ラ・セレース」のフロア拡張を行い、ゆったりとお食事をお楽しみいただけます。

皆様のお越しをお待ちしております。

美しいパノラマをご用意してお待ちしております。

ホテル 大観荘

〔予約センター〕022-354-5214

〒981-0213 宮城県宮城県郡松島町松島字犬田10-76

<https://www.taikanso.co.jp>
E-mail yoyaku@taikanso.co.jp